

## 第2回区政モニターアンケート 「防災について」

調査目的	区民の防災への関心・要望等を把握し、地域防災の推進に反映させるために調査を行いました。
調査方法	調査票、回答とも郵送
実施時期	平成7年5月
送付数	50人
回収数	49人
回収率	98%

## 要 旨

阪神大震災級の地震に対する不安を感じているか聞いたところ、『不安を感じている（「非常に不安を感じている」＋「かなり不安を感じている」＋「少し不安を感じている」）』が、93.9%で、ほとんどの人が不安感を持っている。これを性別で見ると、男性が83.4%、女性97.2%で女性の方が不安感を持っている割合が大きい。

現在の住まいはどれか聞いたところ、「木造一戸建て」が一番多く、44.9%、以下、「鉄筋アパート・マンション」が24.5%、「公団・公社・都営住宅」が16.3%等となっている。

現在の住まいは築何年か聞いたところ「20年以上」が一番多く36.7%、以下「5年以上～10年未満」が22.4%、「10年以上～15年未満」が20.4%等となっている。

自分の地域に都市直下型地震が発生した場合心配なことは何か聞いたところ、「火災の発生」が一番多く、73.5%、以下、「電気・ガス・水道などの途絶え」と「建物の倒壊」がそれぞれ57.1%、「家具の転倒・落下」が32.7%、「液状化現象」が30.6%等となっている。

阪神大震災前に、地震に対して心がけていたことがあるかの問いに、「常時風呂に水をためていた」が最も多く、51.0%、「災害時用物品の用意をしていた」が、42.9%、「避難場所・避難経路の確認をしていた」が38.8%等という結果であったのに対して、阪神大震災以降に、地震に対して心がけていることがあるかの間には、「災害時用物品を用意するようになった」が最も多く、61.2%、「地震時の対応等について家族で話し合った」が57.1%、「避難場所・避難経路の確認をした」が46.9%等となっている。

阪神大震災前と阪神大震災以降を比較すると、「地震等の対応等について家族で話し合う」が20.4%の大きな伸びを示している。

阪神大震災前に、地震に対して用意していたものがあるかの問いに、「懐中電灯」が一番多く、85.7%、以下、「携帯ラジオ」が59.2%、「消火器」が42.9%等であった。これに対して阪神大震災以降に、地震に対して用意したものがあるかの問いには、「非常用食糧」が一番多く、38.8%、以下、「懐中電灯」と「飲料水」が36.7%、「携帯ラジオ」が32.7%となっている。

「一時集合場所」や「避難場所」がどこにあるか知っているか聞いたところ、「両方知っている」が一番多く、36.7%だった。これを性別で見ると、男性が58.3%、女性が29.7%で男性の方が周知率が高くなっている。また、これを年代別で見ると、40歳未満が13.3%、40歳以上が47.1%で、40歳以上の方がかなり多いということがわかる。

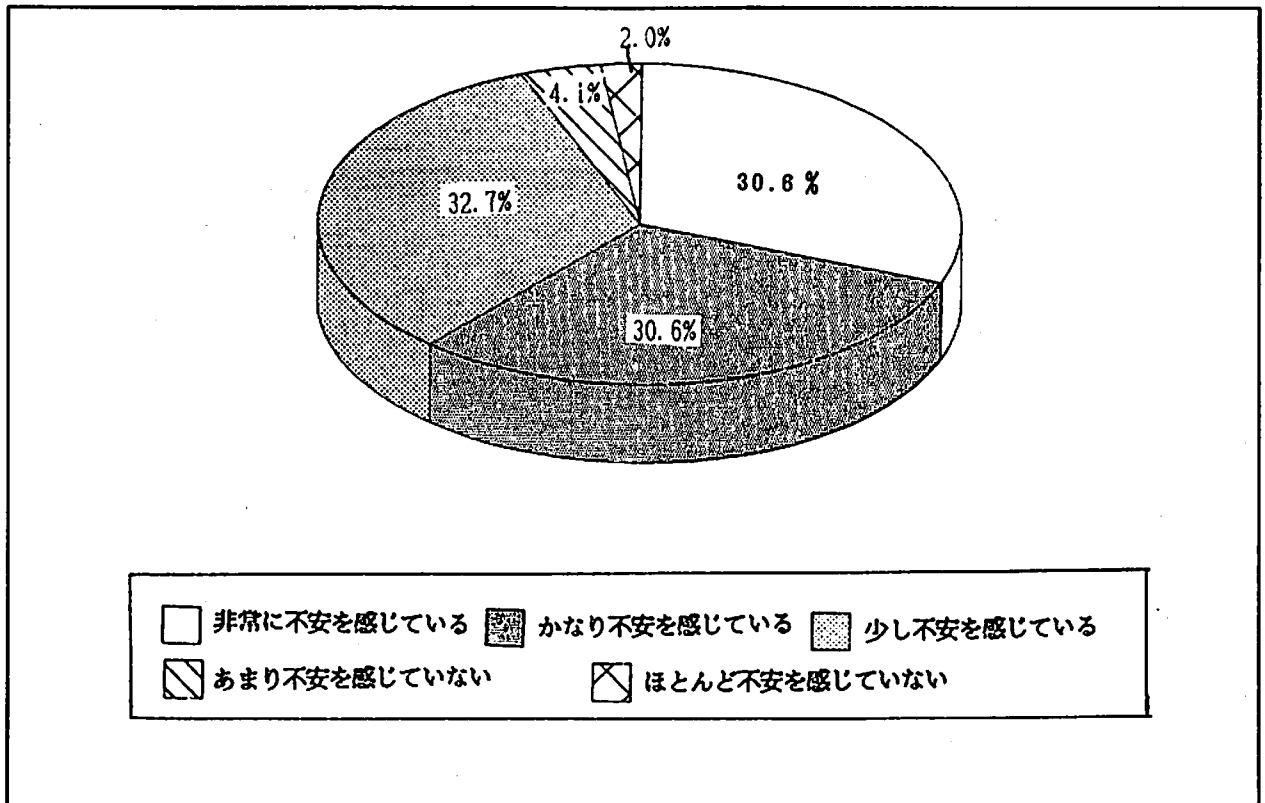
町会・自治会の防災区民組織の活動の周知度は、「知っている」が49.0%だった。これを年代別で見ると、40歳未満が33.3%、40歳以上が66.7%で、年代が高い方が周知率が高いことがわかる。

大地震が起きたとき、隣近所で助け合いや協力が期待できるかの問いに、火災の初期消火が、『できる（「できる」＋「できそうだ」）』が77.6%だった。児童や幼児の一時的な保護に対しては61.2%、高齢者や障害者の避難の手助けに対しては57.2%、倒壊家屋からの救出・救助に対しては、53.0%の人が『できる（「できる」＋「できそうだ」）』と答えている。

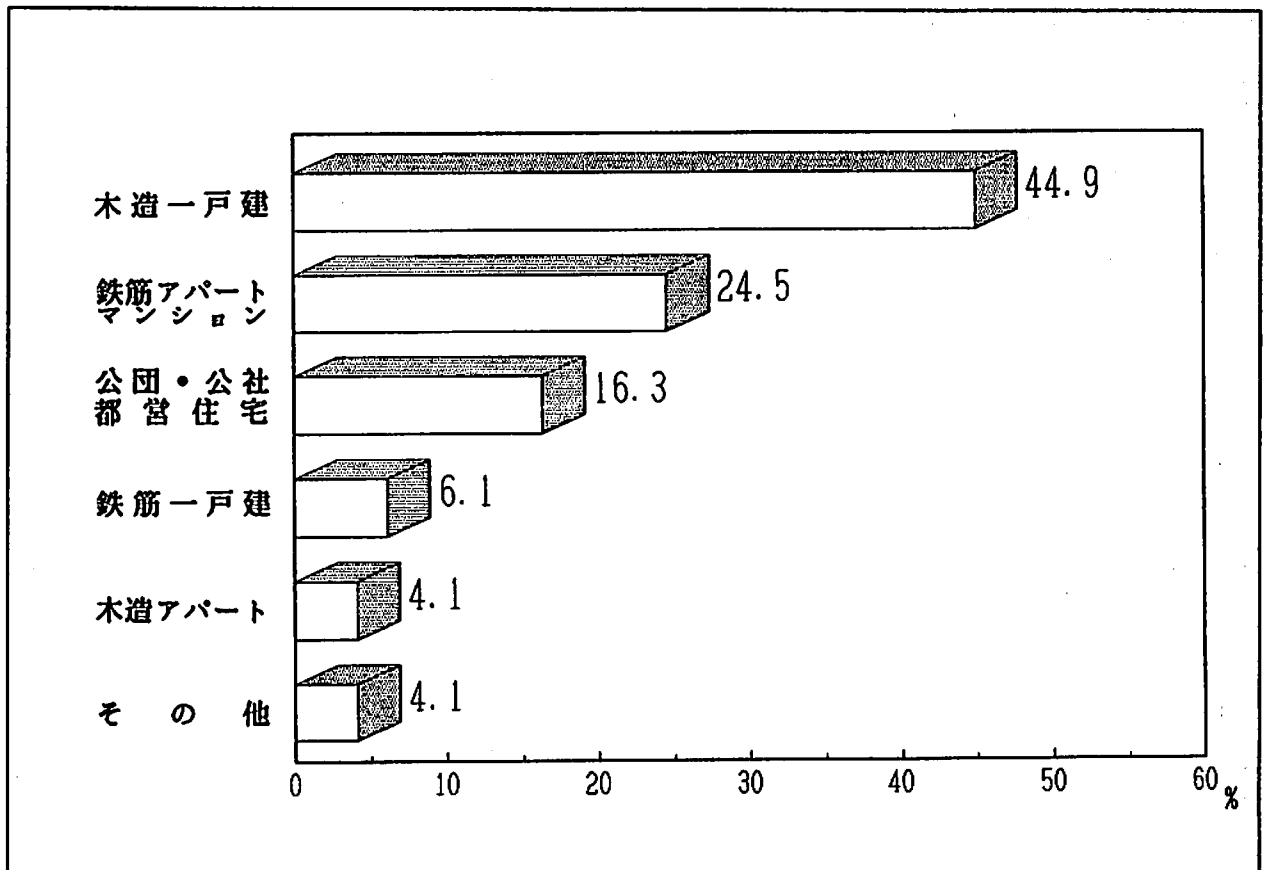
震災により被害を受けなかった場合、ボランティア活動に参加したいかの問いに、『（「参加したい」＋「できるだけ参加したい」）』が93.9%とほとんどの人が参加意向があることがわかる。

震災対策として最も重点をおくべき施策は何か聞いたところ、「緊急医療体制の整備」が最も多く、55.1%、以下、「応急用飲料水・食料の確保」が49.0%、「避難場所等の整備と安全確保」が38.8%等のアンケート結果だった。

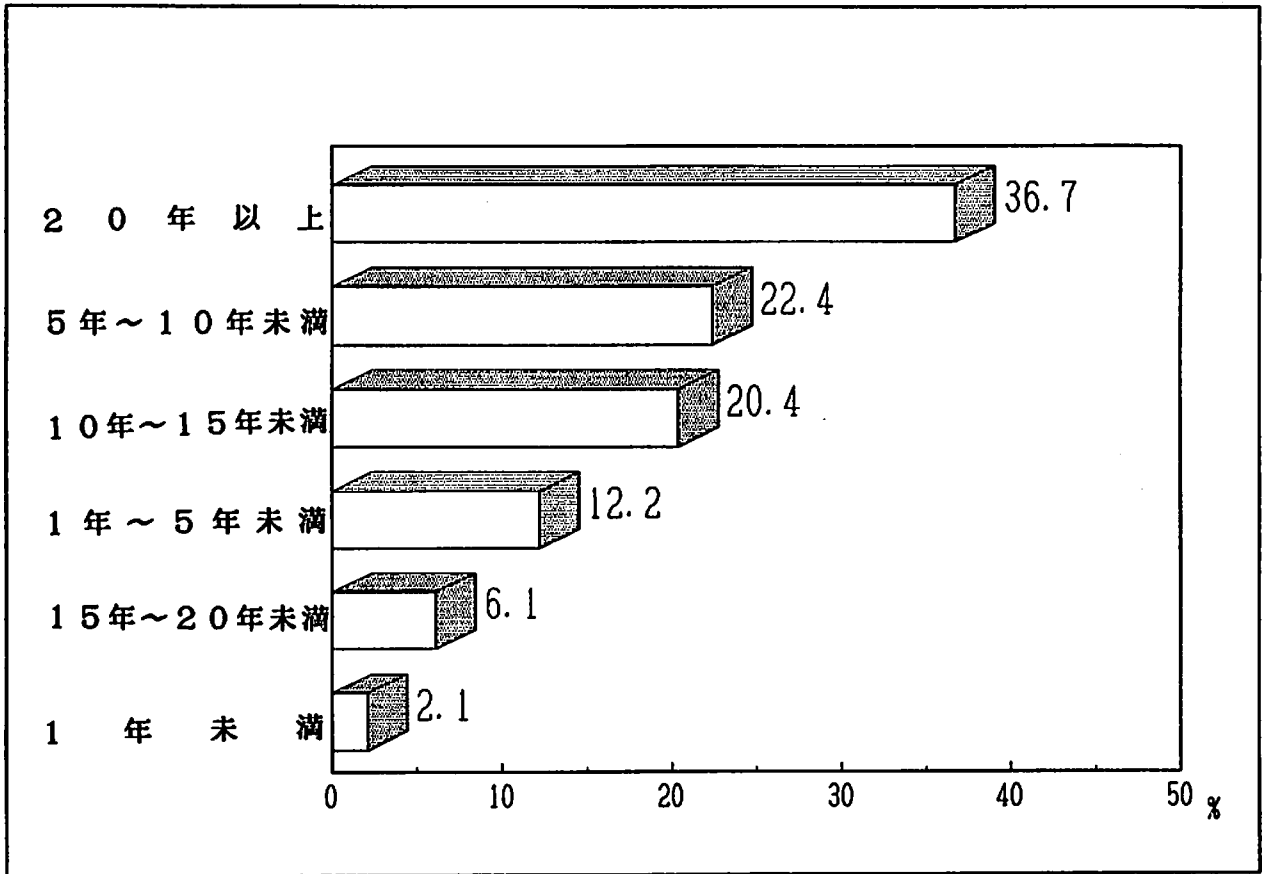
1. 阪神大震災級の地震に対する不安を感じているか



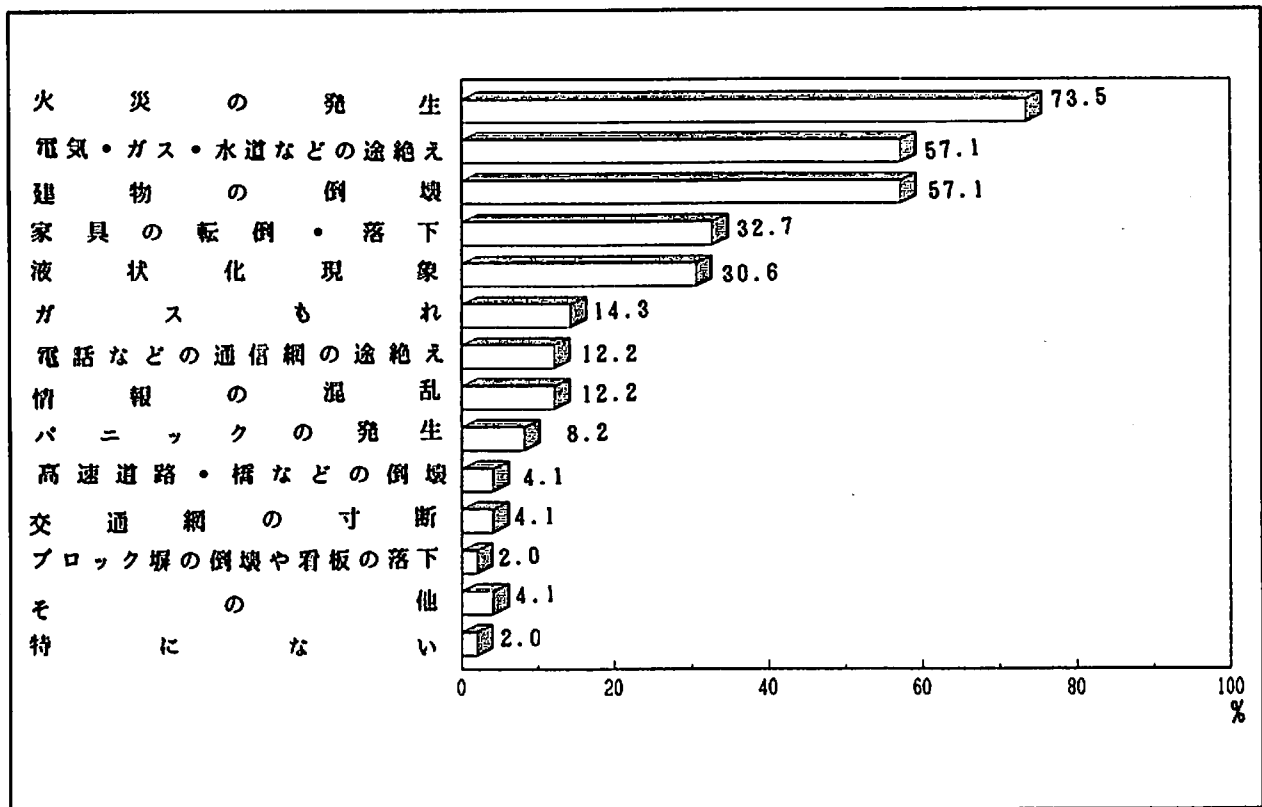
2. 現在のお住まいは、どれか



### 3. 現在のお住まいは、築何年か

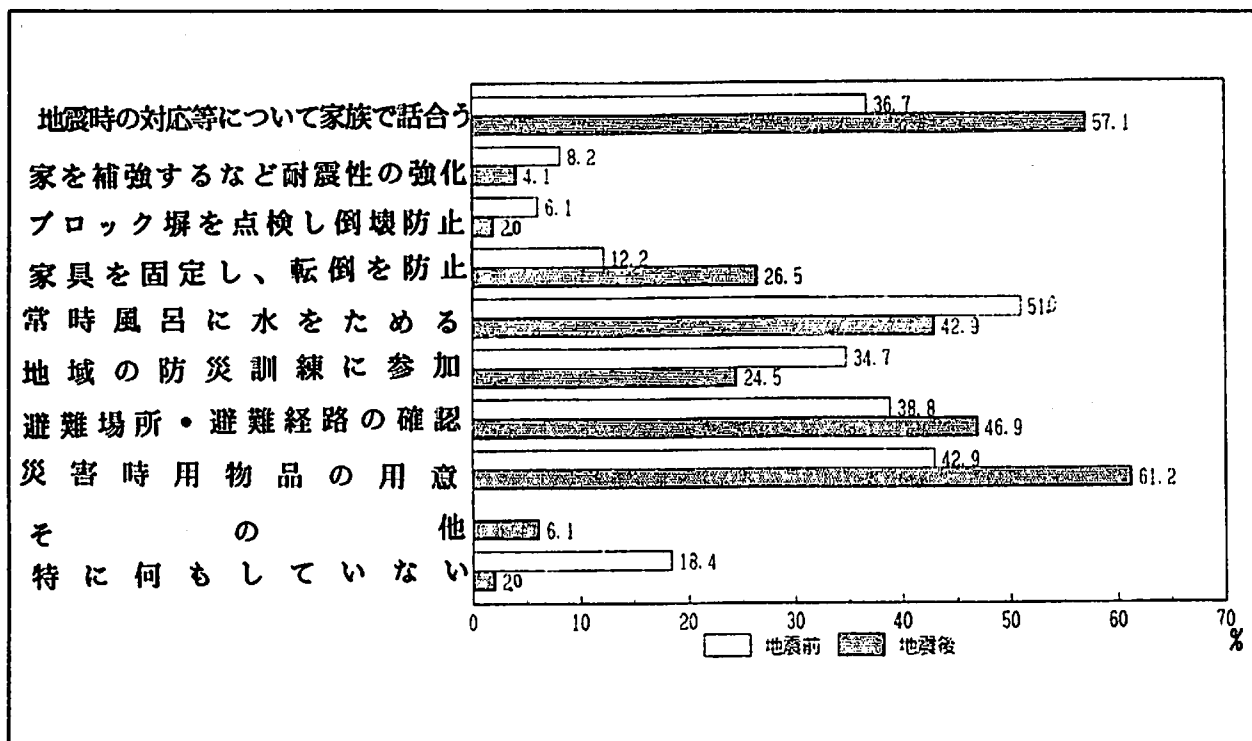


### 4. あなたの地域に、都市直下型地震が発生した場合心配なことは何か



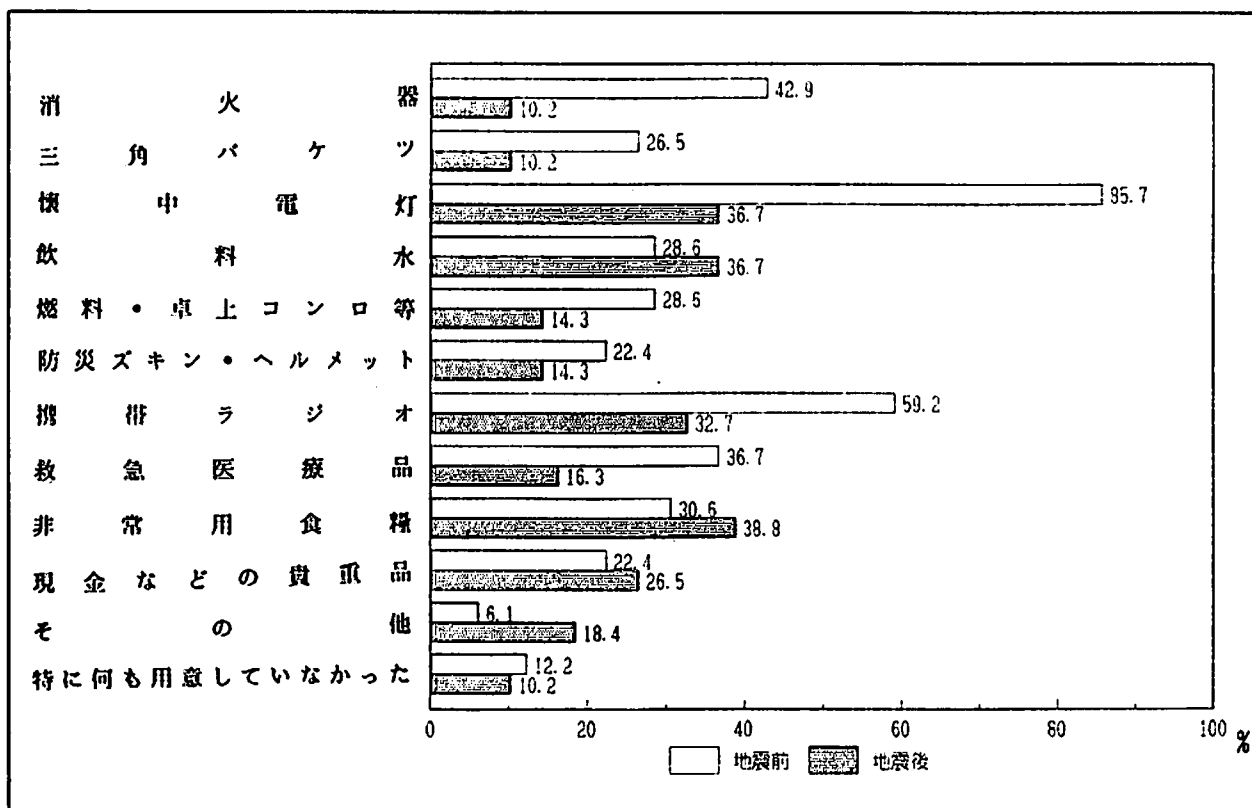
5. 阪神大震災前に、地震に対して心がけていたことがあるか

7. 阪神大震災以降に、地震に対して心がけていることがあるか

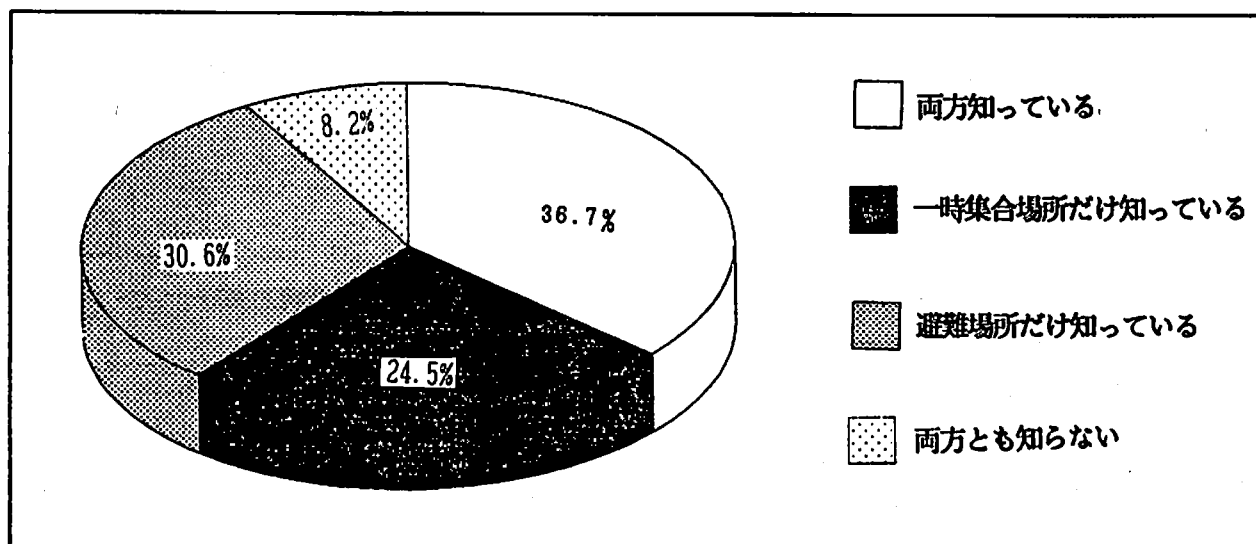


6. 阪神大震災前に、地震に対して用意していたものがあるか

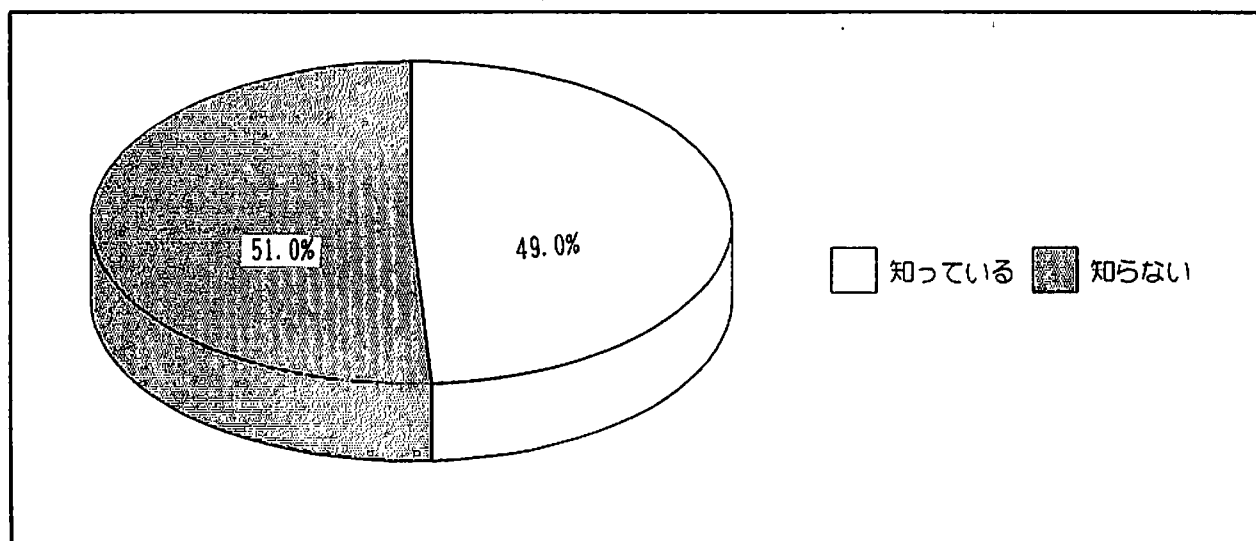
8. 阪神大震災以降に、地震に対して用意したものがあるか



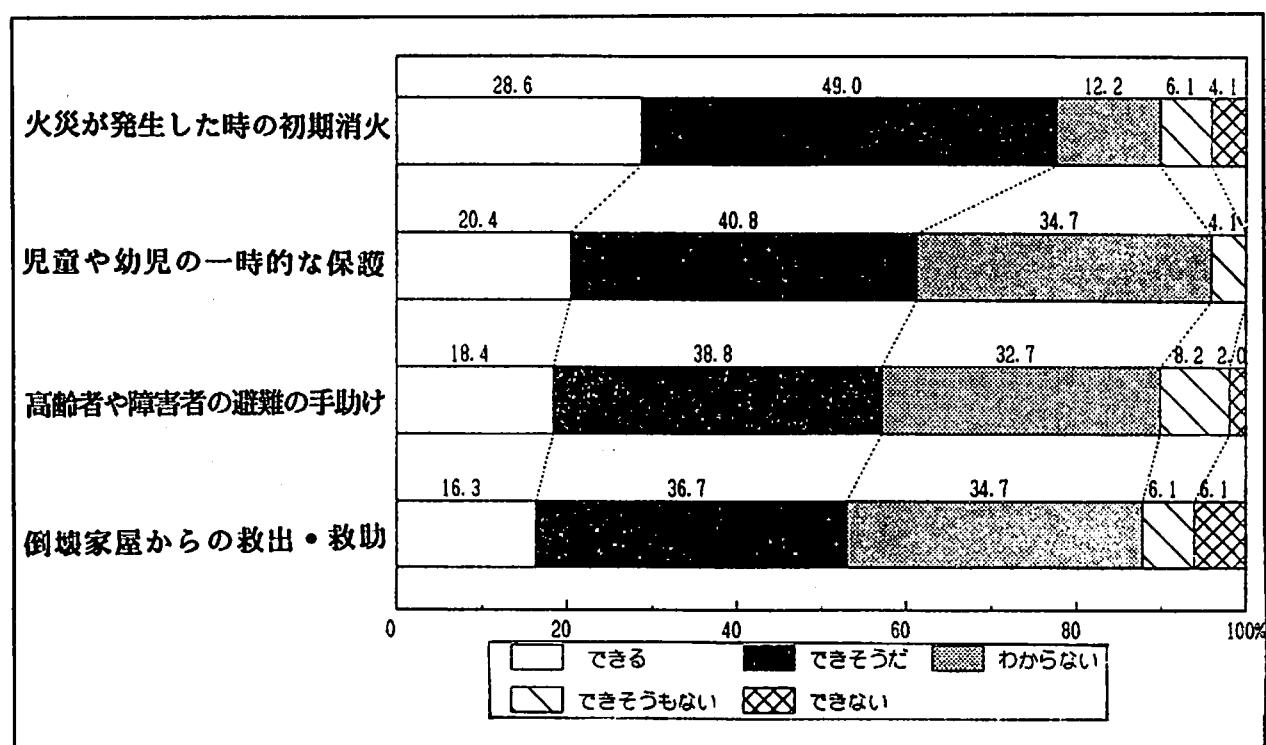
9. 「一時集合場所」や「避難場所」がどこにあるか知っているか



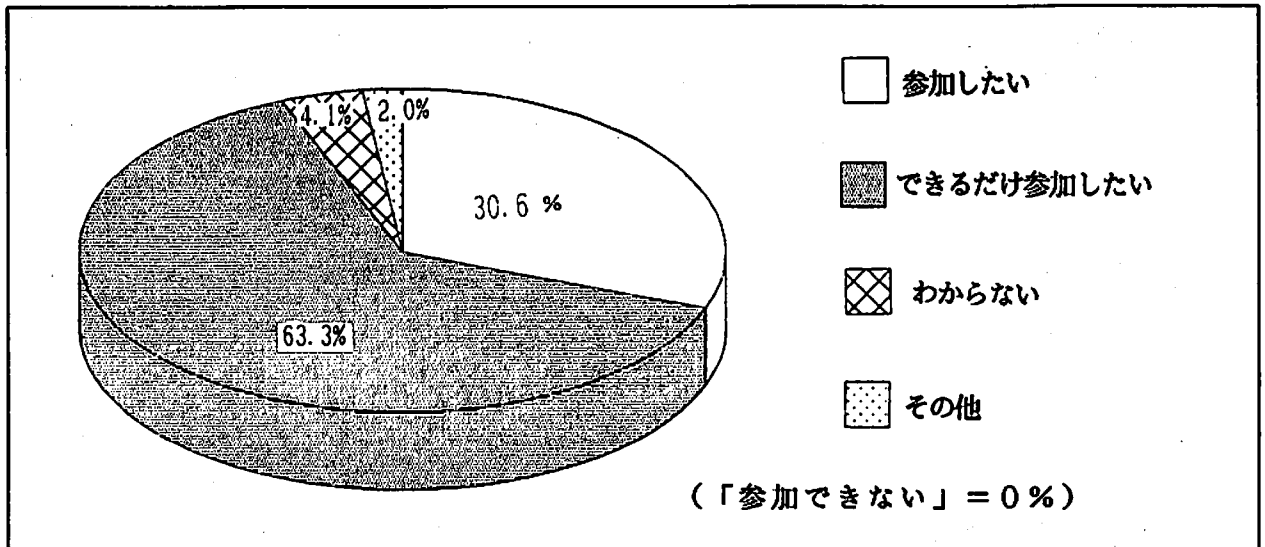
10. 町会・自治会の防災区民組織の活動を知っているか



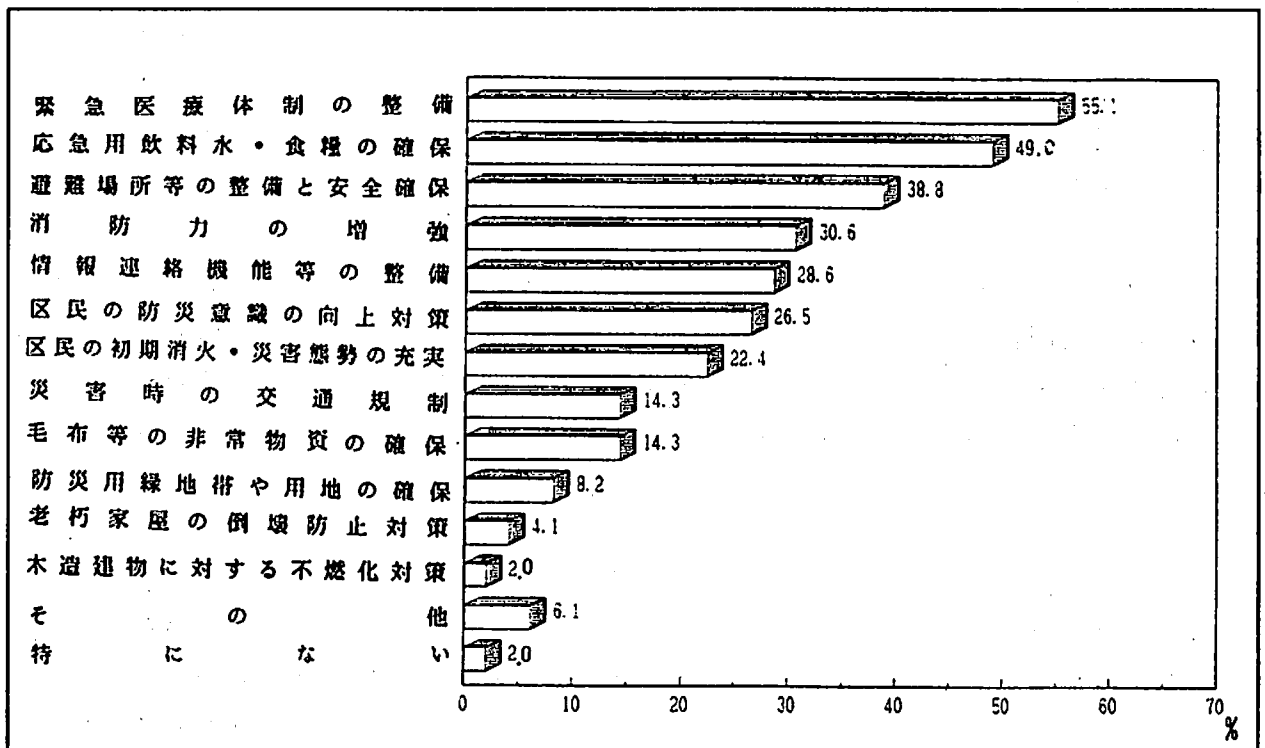
11. 大地震が起きた時、隣近所で助け合いや協力が期待できるか



1 2. 震災により被害を受けなかった場合、ボランティア活動に参加したいか



1 3. 震災対策として最も重点をおくべき施策は何か



問 1 4. 震災対策についての意見、要望等【自由回答】(主な意見の要旨)

- 避難場所となる各学校に非常用物資を備蓄することはできないか。(30代 女性)
- 近隣地区(葛飾・荒川区)や他県(埼玉)の連携を強化するべきである。(30代 女性)
- 災害時、全道路の自動車の通行の禁止をすべきである。警視庁・都等と協議しこれを行える体制を作るべきである。(30代 女性)
- 防災無線・防災テレビ等連絡体制の強化をするべきである。(30代 女性)
- 町会・自治会に防災補助金を出し、自主的な防災準備体制・住民の意識向上を図る。(60代 男性)



- 災害時の消防車走行道路、防火用水の確保をする。そのために公園地下駐車場の建設をし、違法路上駐車を減らすべきである。 (50代 男性)
- 役所(都・区)と消防署・警察署(自衛隊)医療機関との連携を確立するべきである。 (70代 男性)
- 阪神の災害を見て、火災が一番怖いと思った。火災発生の場合、すぐ消火できる方法を教えてほしい。 (30代 女性)
- 食糧等の備蓄についての情報を教えてほしい。 (40代 男性)
- 災害時対策マニュアルの作成、勉強会等を実施してほしい。 (40代 男性)
- 行政サイドはよく整備されているので、区民の防災意識を高めることが大切である (60代 男性)
- 災害時に荒川・綾瀬川・中川等から取水する設備(移動可能)を用意しておく。 (30代 女性)
- 一時集合場所等を記載した簡単明瞭なパンフレットを配付してはどうか。 (30代 女性)
- 建物を建築の際は耐震性の強化を指導するようにしてほしい。 (30代 女性)
- 木造建築については区でモデル設計を行い、建築会社や設計会社を指導してはどうか。
- 自治会・町会で常に住民の数を把握しておくべきである。 (30代 女性)
- 各事業所・地域に発電機を備えるのはどうか。 (50代 女性)
- 区で用意してある乾パンは評判が良くないと思う。 (50代 女性)
- 地域の防災訓練を数多く行ってほしい。 (50代 女性)
- 仮設住宅・トイレの準備をしておくべきである。 (30代 女性)
- 震災・災害救助活動用情報網の強化・整備を行うべきである。 (60代 男性)
- 災害対策本部→区民事務所→町会・自治会単位の無線連絡の確立。 (60代 男性)
- 呼び笛(警笛)を備えるべきである。 (70代 男性)
- 老人家庭の震災対策・防火について消防署職員による検査を実施・指導する必要があるのではないか。 (70代 男性)
- 避難場所に遠い人もいるので、近所に数多くの避難場所を指定できないか。 (60代 男性)
- 商店街・事業所が道路に荷物を積んであるのは災害時にはじゃまであるので、排除するべきである。 (60代 男性)
- 地域での防災訓練を区主催で行ってほしい。また、災害時には区から直接の指示・情報を流してほしい。 (30代 女性)
- 一時集合場所・避難場所を町の掲示板に掲示しておくべきである。 (20代 女性)

# 平成7年度第2回区政モニターアンケート

## 《 防 災 に つ い て 》

氏 名

---

問1. あなたは、阪神・淡路大震災級の地震に対する不安を感じていますか。(1つだけ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 非常に不安を感じている | 4. あまり不安を感じていない  |
| 2. かなり不安を感じている | 5. ほとんど不安を感じていない |
| 3. 少し不安を感じている  |                  |

問2. 現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(1つだけ)

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 1. 木造一戸建  | 4. 鉄筋アパート・マンション |
| 2. 木造アパート | 5. 公団・公社・都営住宅   |
| 3. 鉄筋一戸建  | 6. その他 ( )      |

問3. 現在のお住まいは、築何年ですか。(1つだけ)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 1年未満       | 4. 10年以上～15年未満 |
| 2. 1年以上～5年未満  | 5. 15年以上～20年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 6. 20年以上       |

問4. あなたの地域に、都市直下型地震が発生した場合、心配なことは何ですか。(3つまで)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 火災の発生          | 8. 情報の混乱            |
| 2. 高速道路・橋など倒壊     | 9. 家具の転倒・落下         |
| 3. 電気・ガス・水道などの途絶え | 10. ガスもれ            |
| 4. 建物の倒壊          | 11. ブロック塀の倒壊や看板等の落下 |
| 5. 電話などの通信網の途絶え   | 12. 交通網の寸断          |
| 6. パニックの発生        | 13. その他 ( )         |
| 7. 液状化現象          | 14. 特にない            |

問5. 阪神・淡路大震災が起こる前に、地震に対して心がけていたことがありますか。  
(いくつでも)

1. 地震時の対応や連絡方法などについて家族で話し合っていた
2. 自分の家を補強するなど耐震性を強くしていた
3. ブロック塀を点検し、倒壊を防止していた
4. 家具を固定し、転倒を防止していた
5. 常時風呂に水をためていた
6. 地域の防災訓練に参加していた
7. 避難場所・避難経路の確認をしていた
8. 災害時用物品を用意していた
9. その他 ( )
10. 特に何もしていなかった

【裏 面 へ】

問6. 阪神・淡路大震災が起こる前、地震に対して用意していたものがありますか。(いくつでも)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 消火器         | 7. 携帯ラジオ          |
| 2. 三角バケツ       | 8. 救急医療品          |
| 3. 懐中電灯        | 9. 非常用食糧          |
| 4. 飲料水         | 10. 現金などの貴重品      |
| 5. 燃料・卓上コンロ等   | 11. その他( )        |
| 6. 防災ズキン・ヘルメット | 12. 特に何も用意していなかった |

問7. 阪神・淡路大震災以降、地震に対して心掛けていることはありますか。(いくつでも)

1. 地震時の対応や連絡方法などについて家族で話し合った
2. 自分の家を補強するなど耐震性を強くした
3. ブロック塀を点検し倒壊を防止した
4. 家具を固定し、転倒を防止した
5. 常時風呂に水をためるようにしている
6. 地域の防災訓練に参加するようになった
7. 避難場所・避難経路の確認をした
8. 災害時用物品を用意するようになった
9. その他( )
10. 特に何もしていない

問8. 阪神・淡路大震災以降、大地震に対して用意したものがありますか。(いくつでも)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 消火器         | 7. 携帯ラジオ        |
| 2. 三角バケツ       | 8. 救急医療品        |
| 3. 懐中電灯        | 9. 非常用食糧        |
| 4. 飲料水         | 10. 現金などの貴重品    |
| 5. 燃料・卓上コンロ等   | 11. その他( )      |
| 6. 防災ズキン・ヘルメット | 12. 特に何も用意していない |

問9. 大地震が発生し、大火災等の恐れがある場合は、区内にある「一時集合場所」や「避難場所」へ避難することになっています。あなたは、あなたの地域の「一時集合場所」や「避難場所」がどこにあるか知っていますか。(1つだけ)

「一時集合場所」は、一時的に集まる所で区内に440箇所あります。  
「避難場所」は、事態が悪化した場合、地域の防災リーダーの指示により避難する所で区内に9箇所あります。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 両方知っている       | 3. 避難場所だけ知っている |
| 2. 一時集合場所だけ知っている | 4. 両方とも知らない    |

問10. 区では、町会・自治会単位で防災区民組織を結成し、災害に備えています。あなたは、自分が加入している町会・自治会の防災区民組織の活動を知っていますか。(1つだけ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【次ページへ】

問 1 1 . 大地震が起きた時には、避難や消火、救助などで隣近所の助け合いや協力が必要となる  
ことが考えられます。あなたの隣近所では、次のようなことについて、助け合いや協力が期待  
できると思いますか。以下の 1～4 に対してあてはまるところに○をつけてください。  
(○は各項目ごとに1つ)

1. 火災が発生した時の初期消火	できる	できそう	わからない	できそうも ない	できない
2. 倒壊家屋からの救出・救助	できる	できそう	わからない	できそうも ない	できない
3. 高齢者や障害者の避難の手助 け	できる	できそう	わからない	できそうも ない	できない
4. 児童や幼児の一時的な保護	できる	できそう	わからない	できそうも ない	できない

問 1 2 . 震災によりあなたが被害を受けなかった場合、あなたは、ボランティア活動に参加したい  
と思いますか。(1つだけ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 参加したい      | 4. わからない   |
| 2. できるだけ参加したい | 5. その他 ( ) |
| 3. 参加できない     |            |

問 1 3 . 震災対策として、今後最も重点をおくべき施策は、何だと思いますか。(3つまで)

1. 消防力の増強
2. 避難場所等の整備と安全確保
3. 情報連絡機能等の整備
4. 応急用飲料水・食糧の確保
5. 毛布等の非常物資の確保
6. 緊急医療体制の整備
7. 区民の防災意識の向上対策
8. 区民の初期消火・災害態勢の充実
9. 木造建物に対する不燃化対策
10. 老朽家屋の倒壊防止対策
11. 防災用緑地帯や用地の確保
12. 災害時の交通規制
13. その他 ( )
14. 特になし

問 1 4 . 震災対策について、意見や要望等がありましたら記入してください。(自由回答)

集 計 表

防 災	全 体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	49	12	37	15	34
問1. 阪神大震災級の地震に対する不安を感じているか。 N = 49					
1. 非常に不安を感じている	30.6	16.7	35.1	46.7	23.5
2. かなり不安を感じている	30.6	25.0	32.4	26.7	32.4
3. 少し不安を感じている	32.7	41.7	29.7	20.0	38.2
4. あまり不安を感じていない	4.1	8.3	2.7	0.0	5.9
5. ほとんど不安を感じていない	2.0	8.3	0.0	6.7	0.0
問2. 現在のお住まいは、どれか。 N = 49					
1. 木造一戸建	44.9	50.0	43.2	33.3	50.0
2. 木造アパート	4.1	0.0	5.4	6.7	2.9
3. 鉄筋一戸建	6.1	8.3	5.4	0.0	8.8
4. 鉄筋アパート・マンション	24.5	16.7	27.0	46.7	14.7
5. 公団・公社・都営住宅	16.3	16.7	16.2	13.3	17.6
6. その他	4.1	8.3	2.7	0.0	5.9
問3. 現在のお住まいは、築何年か。 N = 49					
1. 1年未満	2.0	8.3	0.0	6.7	0.0
2. 1年以上～5年未満	12.2	8.3	13.5	33.3	2.9
3. 5年以上～10年未満	22.4	25.0	21.6	26.7	20.6
4. 10年以上～15年未満	20.4	25.0	18.9	13.3	23.5
5. 15年以上～20年未満	6.1	8.3	5.4	6.7	5.9
6. 20年以上	36.7	25.0	40.5	13.3	47.1
問4. あなたの地域に、都市直下型地震が発生した場合心配なことは何か。 N = 49 (3つまで)					
1. 火災の発生	73.5	66.7	75.7	66.7	76.5
2. 高速道路・橋などの倒壊	4.1	0.0	5.4	6.7	2.9
3. 電気・ガス・水道などの途絶え	57.1	91.7	45.9	33.3	67.6
4. 建物の倒壊	57.1	25.0	67.6	73.3	50.0
5. 電話などの通信網の途絶え	12.2	33.3	5.4	13.3	11.8
6. パニックの発生	8.2	0.0	10.8	0.0	11.8
7. 液状化現象	30.6	58.3	21.6	40.0	26.5
8. 情報の混乱	12.2	0.0	16.2	20.0	8.8
9. 家具の転倒・落下	32.7	16.7	37.8	46.7	26.5
10. ガスもれ	14.3	8.3	16.2	20.0	11.8
11. ブロック塀の倒壊や看板の落下	2.0	0.0	2.7	6.7	0.0
12. 交通網の寸断	4.1	0.0	5.4	6.7	2.9

防 災	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	49	12	37	15	34
13. その他	4.1	0.0	5.4	6.7	2.9
14. 特にない	2.0	0.0	2.7	6.7	0.0
問5. 阪神大震災前に、地震に対して心がけていたことがあるか。 N = 49 (複数回答)					
1. 地震時の対応等について家族で話合ってた	36.7	41.7	35.1	20.0	44.1
2. 家を補強するなど耐震性を強くしていた	8.2	8.3	8.1	0.0	11.8
3. ブロック塀を点検し、倒壊を防止していた	6.1	8.3	5.4	6.7	5.9
4. 家具を固定し、転倒を防止していた	12.2	25.0	8.1	6.7	14.7
5. 常時風呂に水をためていた	51.0	50.0	51.4	33.3	58.8
6. 地域の防災訓練に参加していた	34.7	50.0	29.7	6.7	47.1
7. 避難場所・避難経路の確認をしていた	38.8	41.7	37.8	20.0	47.1
8. 災害時用物品を用意していた	42.9	58.3	37.8	40.0	44.1
9. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 特に何もしていなかった	18.4	16.7	18.9	26.7	14.7
問6. 阪神大震災前に、地震に対して用意していたものがあるか。 N = 49 (複数回答)					
1. 消火器	42.9	50.0	40.5	33.3	47.1
2. 三角バケツ	26.5	25.0	27.0	6.7	35.3
3. 懐中電灯	85.7	91.7	83.8	66.7	94.1
4. 飲料水	28.6	41.7	24.3	26.7	29.4
5. 燃料・卓上コンロ等	28.6	25.0	29.7	26.7	29.4
6. 防災ズキン・ヘルメット	22.4	16.7	24.3	20.0	23.5
7. 携帯ラジオ	59.2	66.7	56.8	60.0	58.8
8. 救急医療品	36.7	58.3	29.7	33.3	38.2
9. 非常用食糧	30.6	41.7	27.0	26.7	32.4
10. 現金などの貴重品	22.4	25.0	21.6	20.0	23.5
11. その他	6.1	8.3	5.4	6.7	5.9
12. 特に何も用意していなかった	12.2	16.7	10.8	20.0	8.8
問7. 阪神大震災後に、地震に対して心がけていることがあるか。 N = 49 (複数回答)					
1. 地震時の対応等について家族で話合った	57.1	41.7	62.2	53.3	58.8
2. 家を補強するなど耐震性を強くした	4.1	0.0	5.4	6.7	2.9
3. ブロック塀を点検し、倒壊を防止した	2.0	0.0	2.7	0.0	2.9
4. 家具を固定し、転倒を防止している	26.5	33.3	24.3	20.0	29.4
5. 常時風呂に水をためるようにしている	42.9	33.3	45.9	26.7	50.0
6. 地域の防災訓練に参加するようになった	24.5	25.0	24.3	0.0	35.3
7. 避難場所・避難経路の確認をした	46.9	33.3	51.4	46.7	47.1

防 災	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	49	12	37	15	34
8. 災害時用物品を用意するようになった	61.2	41.7	67.6	73.3	55.9
9. その他	6.1	16.7	2.7	0.0	8.3
10. 特に何もしていない	2.0	8.3	0.0	6.7	0.0
問8. 阪神大震災後に、地震に対して用意していたものがあるか。 N = 49 (複数回答)					
1. 消火器	10.2	16.7	8.1	13.3	8.8
2. 三角バケツ	10.2	16.7	8.1	6.7	11.8
3. 懐中電灯	36.7	33.3	37.8	20.0	44.1
4. 飲料水	36.7	25.0	40.5	40.0	35.3
5. 燃料・卓上コンロ等	14.3	8.3	16.2	13.3	14.7
6. 防災ズキン・ヘルメット	14.3	0.0	18.9	13.3	14.7
7. 携帯ラジオ	32.7	25.0	35.1	20.0	38.2
8. 救急医療品	16.3	8.3	18.9	26.7	11.8
9. 非常用食糧	38.8	25.0	43.2	46.7	35.3
10. 現金などの貴重品	26.5	16.7	29.7	26.7	26.5
11. その他	18.4	50.0	8.1	13.3	20.6
12. 特に何も用意していなかった	10.2	8.3	10.8	6.7	11.8
問9. 「一時集合場所」や「避難場所」がどこにあるか知っているか。 N = 49					
1. 両方知っている	36.7	58.3	29.7	13.3	47.1
2. 一時集合場所だけ知っている	24.5	0.0	32.4	33.3	20.6
3. 避難場所だけ知っている	30.6	25.0	32.4	40.0	26.5
4. 両方とも知らない	8.2	16.7	5.4	13.3	5.9
問10. 町会・自治会の防災区民組織の活動を知っているか。 N = 49					
1. 知っている	49.0	58.3	45.9	33.3	66.7
2. 知らない	51.0	41.7	54.1	55.9	44.1
問11. 大地震が起きた時、隣近所で助け合いや協力が期待できるか。 N = 49					
1. 火災が発生した時の初期消火					
できる	28.6	25.0	29.7	33.3	26.5
できそう	49.0	41.7	51.4	53.3	47.1
わからない	12.2	8.3	13.5	13.3	11.8
できそうもない	6.1	16.7	2.7	0.0	8.8
できない	4.1	8.3	2.7	0.0	5.9

防 災	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	49	12	37	15	34
2. 倒壊家屋からの救出・救助					
できる	16.3	16.7	16.2	20.0	14.7
できそう	36.7	41.7	35.1	33.3	38.2
わからない	34.7	25.0	37.8	40.0	32.4
できそうもない	6.1	8.3	5.4	0.0	8.8
できない	6.1	8.3	5.4	6.7	5.9
3. 高齢者や障害者の避難の手助け					
できる	18.4	8.3	21.6	13.3	20.6
できそう	38.8	58.3	32.4	40.0	38.2
わからない	32.7	25.0	35.1	40.0	29.4
できそうもない	8.2	0.0	10.8	6.7	8.8
できない	2.0	8.3	0.0	0.0	2.9
4. 児童や幼児の一時的な保護					
できる	20.4	8.3	24.3	20.0	20.6
できそう	40.8	66.7	32.4	46.7	38.2
わからない	34.7	25.0	37.8	33.3	35.3
できそうもない	4.1	0.0	5.4	0.0	5.9
できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問12. 震災により被害を受けなかった場合、ボランティア活動に参加したいか。 N = 49					
1. 参加したい	30.6	16.7	35.1	20.0	35.3
2. できるだけ参加したい	63.3	75.0	59.5	60.0	64.7
3. 参加できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. わからない	4.1	8.3	2.7	13.3	0.0
5. その他	2.0	0.0	2.7	6.7	0.0



防 災	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	49	12	37	15	34
問13. 震災対策として最も重点をおくべき施策は何か。 N = 49 (3つまで)					
1. 消防力の増強	30.6	16.7	35.1	40.0	26.5
2. 避難場所等の整備と安全確保	38.8	41.7	37.8	53.3	32.4
3. 情報連絡機能等の整備	28.6	33.3	27.0	53.3	32.4
4. 応急用飲料水・食糧の確保	49.0	58.3	45.9	26.7	29.4
5. 毛布等の非常物資の確保	14.3	0.0	18.9	40.0	52.9
6. 緊急医療体制の整備	55.1	41.7	59.5	53.3	55.9
7. 区民の防災意識の向上対策	26.5	33.3	24.3	20.0	29.4
8. 区民の初期消火・災害態勢の充実	22.4	25.0	21.6	13.3	26.5
9. 木造建物に対する不燃化対策	2.0	0.0	2.7	0.0	2.9
10. 老朽家屋の倒壊防止対策	4.1	16.7	0.0	6.7	2.9
11. 防災用緑地帯や用地の確保	8.2	0.0	10.8	13.3	5.9
12. 災害時の交通規制	14.3	16.7	13.5	0.0	20.6
13. その他	6.1	16.7	2.7	6.7	5.9
14. 特にない	2.0	0.0	2.7	6.7	0.0